

PREMIUM

名古屋音楽学校×中日文化センター共催

指揮者で変わる音楽

指揮の見方と名曲聴き比べ

同じ曲であっても指揮者が変わればオーケストラの演奏は大きく変化します。それは指揮者によって振り方、音楽性の違い、また指揮者自身の背景やキャリア、年齢も影響するからです。

当講座では《指揮の見方講座》として実際に指揮法の演習体験を行い、指揮そのものの理解と観察力を高めます。また、多くの指揮者による演奏を聴き比べることで、指揮者の持つ豊かな音楽的想像力に触れていきます。



- 講師 ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団
常任指揮者 高谷光信
- 開催日時 11/2、1/18、3/14(木)18:00~19:30
- 受講料 3回分 10,296円(税込)
- 会場 名古屋音楽学校ホール(裏面に地図表記)

11月2日 ①指揮の見方講座 指揮法Ⅰ / ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」

指揮法Ⅰでは最も重要な基礎の技術「たたき」の演習を行います。振り下ろす一つの動作には奏者に伝えるべき情報量がどれだけ含まれているのでしょうか。そして実際にドヴォルザークの新世界を聴き比べることで指揮者による音楽作りの違いを学びます。

1月18日 ②指揮の見方講座 指揮法Ⅱ / モーツァルト ピアノ協奏曲

指揮法Ⅱでは「しゃくい・分割」の演習を行います。音楽の微妙なニュアンスを大人数のオーケストラに正しく伝えるにはどのようなテクニックが使われているのでしょうか。

またモーツァルトのピアノ協奏曲を取り上げることで指揮者によるソリストとのコミュニケーションのとり方を見比べていきます。

3月14日 ③指揮の見方講座 指揮法Ⅲ / ラフマニノフ 交響曲第2番

指揮法Ⅲでは「ひっかけ・速い2拍子」の演習を行います。そして全3回の指揮法演習で学んだテクニックの総合的理解を深めていきます。またラフマニノフの交響曲から、それぞれの指揮者がどれだけ音楽と真剣に向き合い、どのような覚悟を持って指揮台に立っているのかを紐解きます。

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※受講料には維持管理費が含まれています。
 ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
 ※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
 ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
 ※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ
初めてご入会される方は、
別途登録料550円(税込)が必要です。

名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F
☎0120-53-8164
10:00~19:00(日曜日は17:00まで)



QRコード
から簡単
申し込み!





講師プロフィール



●高谷光信(たかやみつのぶ)

東京混声合唱団 指揮者
 ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者
 MusikEngel合唱団 音楽監督
 一般社団法人日本ウクライナ音楽協会 理事長
 四條畷市市民総合センター 芸術監督
 名古屋芸術大学 非常勤講師

【略歴】

ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。国家演奏資格ディプロマを取得。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V.プラソロフ、故E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチに師事。2003年ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に登壇しプロデビューを果たす。首席客演指揮者(2003~2006)第2指揮者(2006~2012)常任指揮者(2012~)に就任。『ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー』『ウクライナ国際シヴィール音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キーウ夏の音楽の夕べ』『ウクライナ国際バルトケーヴィッチ音楽祭』に出演。2010年より『ウクライナ国際指揮マスタークラス』の講師・審査員を務める。

現在までに東京混声合唱団、神戸市混声合唱団、ウクライナ国立ドゥムカ合唱団、ウクライナ州立ポルトニャンスキー室内合唱団、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、兵庫芸術センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、神戸市室内合奏団などを指揮。

《題名のない音楽会》(テレビ朝日・Osaka Shion Wind Orchestra2014年11月23日放送)《かんさい熱視線》(NHK大阪・戦地から奏でる“希望のムジカ”ウクライナと日本の音楽家たち 2022年9月2日 放送)など、多数のTV番組に出演。2017年よりフジコ・ヘミングと共演を重ねる。東京混声合唱団においては2008年の初登壇より約100回の共演を数える。

関西大学客員教授。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学大学院音楽研究科・芸術学部音楽領域、武庫川女子大学音楽学部、各講師。

第16回京都芸術祭京都市長賞 受賞(2002年京都) チェルニーヒウ州文化功労賞 受賞(2012年7月ウクライナ) チェルニーヒウ州行政長 文化功労感謝状 受彰(2019年7月ウクライナ)

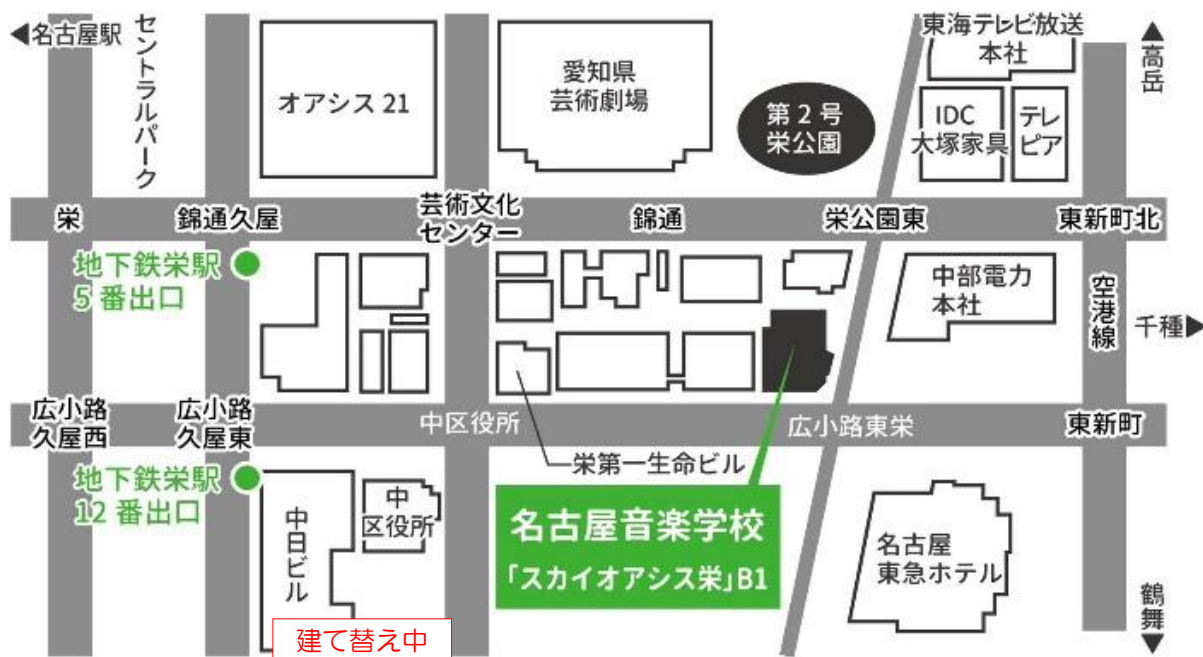
会場



名古屋音楽学校
 NAGOYA SCHOOL OF MUSIC

名古屋市中区新栄町2-9 スカイオアシス栄B1F

TEL 052-973-3456



名古屋音楽学校
 NAGOYA SCHOOL OF MUSIC



名古屋・栄 中日文化センター 共催

※お申し込み受付は栄中日文化センターが承ります